



# Open SDV API 全体概要とAPIコンセプト 補足資料

バージョン : 202603a  
発行日 : 2026年4月6日

## Open SDV Initiative

## ドキュメントの位置付け

### ドキュメントの目的

- ▶ この資料は、Open SDV API仕様書の第1章～第3章で説明/規定されている全体概要とAPIのコンセプトに関して、前のバージョンとの違いについてまとめたものである

## 変更履歴

バージョン	発行日	備考
202503 $\alpha$	2025年3月31日	初版
202509 $\alpha$	2025年9月30日	
202603 $\beta$	2026年4月6日	

## バージョン 202509aとの主な違い

- ▶ 「Open SDV API – 全体概要とAPIコンセプト(バージョン: 202509a)」からの主な変更箇所は以下の通り

### 資料の構成

- ▶ 全体概要とAPIコンセプトの内容は、Open SDV API仕様書の第1章～第3章に記載し、この資料からは削除

### 全般

- ▶ 列挙型の列挙子のネーミングコンベンションを、先頭が大文字のキャメルケース(PascalCase)に変更

### オープンSDVとOpen SDV Initiative の取り組み(1.1節)

- ▶ SDV, オープンSDV, ビークルAPI, その標準化の必要性について、説明を追加・拡充
- ▶ Open SDV Initiativeの取り組みに関する記述を簡略化

## APIの位置付けと策定の考え方(1.2節)

- ▶ 「ビークルAPIに対する要件」と「要件を満たすためのアプローチ」を明記するという方針で、構成を変更
  - ▶ 「アプリケーションの開発を容易にすること」「OEMの競争を阻害しないものであること」「安全性に関わるアプリケーションを扱えること」を要件に
- ▶ サービスベースのAPIに関する記述を追加
- ▶ アプリケーションの例を列挙した記述を削除

## APIに関する用語とデータ型(2.1節)

- ▶ 基本データ型の範囲指定で、特殊値の数値も記述するように変更
- ▶ タグ付き共用体をバリエーションに変更
- ▶ YAMLによるデータ型の記述法を規定

## 車両の構成記述(仕様書 2.2節)

- ▶ 第2レベルのノードの検討を進めた
- ▶ インスタンス名であることを示す文字を, “@” から “\$” に変更
- ▶ 構成情報の変化に関する規定を追加

## APIの要素と規定内容(仕様書 2.3節)

- ▶ オブジェクトが特定の機能安全要求を満たすことは, リスククラスではなく, 機能クラスで表現することを規定
- ▶ 並行して呼び出されたサービスコールの実行順序に関する規定を追加
- ▶ イベントに関する規定を詳細化
- ▶ イベントの「パラメータ」を, 「関連情報」に呼称変更
- ▶ イベントキューのオーバフローに関する規定を追加

## 共通データ型(仕様書 3.1節)

- ▶ エラーコードに, E\_INFEASIBLE, E\_NO\_MEMORY, E\_COMMUNICATIONを追加
- ▶ タイムスタンプ(TimestampMsType)の規定を追加

## すべてのオブジェクトが持つイベント(仕様書 3.3節)

- ▶ すべてのオブジェクトが持つイベントに関する規定を追加
  - ▶ EventOverflow と ConfigChanged について規定

## LockableObject(仕様書 3.4節)

- ▶ 規定を詳細化・明確化
- ▶ 「ロック状態の遷移とイベント」の図を追加

## MovableObject(仕様書 3.5節)

- ▶ 規定を詳細化・明確化
- ▶ 移動停止サービスコール (stopMove) の振る舞いと「移動主状態の状態遷移」の図を変更
- ▶ 移動プロファイルを指定する機能を追加
- ▶ イベント種別に ControlledBySelf を追加
- ▶ イベントの抜けに関する規定を追加